

8-4-20 道路専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 道路専門委員会の開催

委員会開催回数：10回（4月～1月）

(2) 対外活動

a) RCCM 登録更新教材の更新

「道路」及び「トンネル」について改訂作業を行った。両分野とも、法や基準の改訂に伴う修正、出典や演習問題の整理・調整を実施した。

b) 視察（知見習得、支部との連携強化）

道路交通技術に関する現地での知見・知識習得や支部との交流を目的として「道路空間再整備に関する事例の視察（大阪市）」を令和8年1月23日～1月24日に実施し、ほこまちなど道路空間再配分についての見識を高めるとともに、近畿支部との技術交流を図った。

c) WG 活動

当委員会では、以下の主な5つのWGの活動記録について記述する。

① 設計システム WG

委員会社の若手技術者が集まり、「性能照査型道路計画・設計」に対して、事例研究として茨城県・栃木県をフィールドとして、複数路線の性能照査を行った。また、「反転交差点」について研究を深め土木学会秋大会で成果発表を行った。

② 品質向上 WG

過年度から継続し、設計ミス防止、品質向上を目指した「品質セミナー」の実施に向けてのエラーの事例集収集、作成及びセミナー講師として参画した。「道路・トンネル」部門は多数受講され、高評価を得た。

③ 勉強会 WG

上記の視察の企画のほか、例年開催している道路専門委員会セミナーについて、令和7年7月3日に協会会員を対象に会場で開催し、講義内容は後日 JCCA Web 講習システムで配信した。

講義内容は次の通りである。

- ・ 講義名：「ラウンドアバウトの今後の展開と動向」

- ・ 講師：日本大学 理工学部

交通システム工学科 准教授

吉岡 慶祐 様

- ・ 目的：安全性の向上や災害時における継続的運用、道路機能の明確化等を長所とする平面交差部種別の1つであるラウンドアバウトについて、国内の整備状況、海外の最新動向等を踏まえ、今後の展開のあり方について学ぶ。

④ 対外活動 WG、外部 WG 等への参加

NEXCO 総研や首都高速道路(株)とは歩掛等について、過年度に引続き意見交換を行った。

上記本部活動の他、公共測量やPRISM運営委員会などの測量関連、社整審道路技術小委員会や土工性能WG、道路土工性能評価WGなどの道路防災関連についても対応した。

また、生産性向上WGの要請に基づき3D2D整合確認PTに委員を派遣し、3次元モデルと2次元図面の整合方法について議論した。

⑤ 無電柱化 WG

無電柱化WGでは、昨年度の継続で、国土交通省無電柱化推進部会コンサルWGに参加し、低コスト化に向けた技術開発を推進した。

d) CIM・i-Construction への取り組み

国交省、及び国土地理院の活動に参加した。

(3) その他

本部からの女性委員の推薦をうけ、山田委員（ニュージェック）が新たに参画した。

2. 次年度の活動について

今年度の活動を継続実施するとともに道路、トンネルを取り巻く課題に取り組む。

（道路専門委員会委員長 千田 哲哉）